

# 千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.25) 2009.8.30

## もくじ

1. 6月度 ボランティア活動・報告  
＜菖蒲沢の菖蒲説明看板の取り付け 他＞
2. 7月度(1) ボランティア活動・報告  
＜天津小学校：緑の教室実習地下刈り、郷台：苗畑草取り＞
3. 7月度(2) ボランティア活動・報告  
＜夏の森林教室サポート＞
4. 8月度(1) ボランティア活動・報告  
＜高校生のための森と海のゼミナールサポート＞
5. 8月度(2) ボランティア活動・報告  
＜クラフトづくり指導＞
6. 9月度 ボランティア活動・募集案内  
＜初秋の自然をたのしむ＞
7. 10月度 ボランティア活動・募集案内  
＜天津小学校 緑の教室サポート活動＞

---

## 6 月度 ボランティア活動・報告

～ 菖蒲沢の菖蒲説明看板の取り付け 他～



石川 輝雄

6月30日(火)に内浦山県民の森→麻綿原→菖蒲沢説明看板取り付け→一杯水林道→清澄作業所の車による見回りをおこないました。郷台作業所の苗畑の草取り作業を行う計画でしたが、朝から大雨でしたので予定を変更しました。

参加者は、岩崎、中原、米倉、片岡、土橋、石川夫婦の7名です。岩崎、中原、石川夫婦の4名は前日の午後に Abies の役員会（議題：北海道演習林見学会の企画）がありましたのでその夜は清澄宿舎に泊まっての参加です。



菖蒲沢の菖蒲を植えた場所に、ここに菖蒲を植えるに至った経緯の説明と、菖蒲の説明の2枚の看板を、防護柵と入り口の2か所に設置しました。

この作業中に長靴に這い上がってくるヤマビルが非常に多くて、大雨でもヤマビルは関係なく活動することが新しい発見でした。ヒルガードなどの防ヒル剤が雨で流れて効果がなくなることが原因かも知れません。またこの場所には絨毯のように一面に水草が茂っていますが、ミズユキノシタと思われます。

一杯水林道の途中で土砂崩れがありました。車が通れないほどではなかったのですが、演習林の林道はいつどこが崩れてもおかしくない地形だと改めて認識しました。

## 7月度（1）ボランティア活動・報告

～ 天津小学校：緑の教室実習地下刈り、郷台：苗畑草取り～



石川 輝雄

7月9日（木）に天津小学校「緑の教室」用実習地の下刈りと郷台の苗畑の草取りをおこないました。参加者は中原、米倉、片岡、石川夫婦の5名です。

往きと帰りに雨に会いましたが作業中は雨が降るようなことはなく、予定通りの作業ができました。

天津小学校の「緑の教室」は、今年は10月27日におこなわれます。この実習地でコナラのドングリを植えます。ここは毎年草で一面に覆われ、ドングリを植えられるような状態でなくなるので、毎年、事前に下刈りをしています。

場所は“毘沙門”で清澄寺の門の前を通り、一杯水林道の入りロゲートの先左側の急斜面地です。

最下段から鎌で草を刈りながら上にあがっていきます。下側には前回、植えたコナラの苗があるので、これを刈らないように注意します。コナラの苗には支柱と色テープで目印

をつけました。今年は大丈夫でしたが、過去にハチが出たことがあるので気を抜けません。

コナラの苗は3年以上前から植えているはずですが、最大でも20cm位の高さにしか育っていないので、ほとんどは草をかき分けて探すような状態です。順調に育っているとはいえませんでした。

作業は午前中で終わり、その後、清澄宿舎に戻り、昼食をとって一休みしてから、郷台作業所に才木さん運転の車で向かいます。郷台作業所の苗畑の草取りは前回(6月30日)に予定していましたが、大雨で中止になってしまったので今日の作業となりました。

作業場所は前回(5月26日)に一度草取りをしたマツの苗畑ですが、約1か月の間にかなり草が生えていました。地球のほとんどの場所は草をとったら2度と生えないような場所が多いと聞きますので、草が生えて困るなどというのはぜいたくということかもしれません。しかし、実際の作業は大変です。たまには緑一面の空気の良い環境で良い汗をかくことは健康にも良いことと思います。



郷台での草取り

今回の活動は時期・内容ともかなりハードな作業でした。参加の皆さんお疲れさまでした。

## 7 月 度 ( 2 ) ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 ・ 報 告

### ～ 夏 の 森 林 教 室 サ ポ ー ト ～

石川 輝雄



つりを楽しむ参加者

親子で森や川とふれあう～生き物観察会～というテーマの「夏の森林教室」が7月25日(土)に行われ、サポート参加をしました。今回の参加者は親子4組9名です。会場は猪ノ川の川原で、一般公開の時のお弁当広場になっているところです。

Abiesの参加者は岩崎、米倉、刈込、石松夫婦、石川夫婦の7名で



す。石松夫婦は今回初参加です。集合、出発の場所は石川夫婦と米倉さんが清澄作業所にほかの4名は上総亀山駅にと別れました。

当日、清澄周辺は深い霧の中で、雨が心配されましたが、途中から霧ははれてきて最後まで雨に影響されず予定通り無事終了しました。

清澄集合組は早めに現地に向かい、立ち入り禁止区域を示すロープ張りなどをして、上総亀山駅からマイクロバスで来る参加者の皆さんを待ちます。

職員の才木、三次さんから今日のプログラムや注意事項を聞いてから水中で生活している生き物の観察が始まります。大小の網、容器、トレイなど、用意してもらった道具を持って川に入りました。石の下や枯葉、流木などの障害物の下に網を入れ、魚や水生昆虫を採ったり、石を裏返してそこにへばりついている小さな虫を観察したりします。ウグイやシマヨシノボリなどの魚やヤゴ、カゲロウ、カワゲラ、プラナリア、ハヤ、ヘビトンボなどもたくさん取れました。落葉を2枚切り取って上下にあわせて小判状の巣を作るコバントビケラ（幼虫）など珍しい虫もいます。採った生物を集めて演習林の三次さんに名前を聞いたり、見分け方を教わったりしました。



コバントビケラの巣

川には色々な生き物が生息していて、そのような環境を維持保存する事が大切である事を教わっていました。

昼食をはさんで、午後は子供達に手作りの釣り竿が渡され、待望の魚釣りです。えさは先ほど観察した水生昆虫などです。釣りは全く初めての子もいて、最初は釣りあげた魚を触れないような子もいましたが、だんだん慣れてきました。親子ともども皆さん各様に釣りを楽しみ、時間が過ぎるのを忘れるくらい熱中しました。今年は例年より水量が少なく、魚が一か所に集まっていたせいか、全員が十分楽しむことができました。



シマヨシノボリ

最後に、捕まえた生き物を全て放してからマイクロバスに乗って、JR上総亀山駅に戻りました。豊かな自然がどんなに素晴らしいかを子供たちが体験されることも必要ですが、親または祖父母が自然を通じて子どもと心をふれあわせる場ということにも意味があるなと実感しました。

# 8 月度（1） ボランティア活動・報告

～ 高校生のための森と海のゼミナールサポート～

石川 輝雄



スギの直径と高さを調べています

8月4日(火)、5日(水)、6日(木)に千葉演習林と千葉大学海洋バイオシステム研究センターの共同主催で「高校生のための森と海のゼミナール」が行われ、サポート役として中原、藤田(和)、石川夫婦の4名が参加しました。最終日こそ雨になりましたが、前2日は天候にめぐまれ、プログラム通り、無事終了しました。

今回参加した高校生は男子4名、女子3名の計7名です。

内容は次のように盛りだくさんでしたが、現地実習が主体ですので高校生のみなさん最後まで、興味深く学べたと思います。テキストも非常に中身の濃い内容で私たちもサポートというよりは一緒に勉強したという感じです。

これに限らず、演習林の行事のサポートという活動案内がありますが、参加しても自分は役に立たないなどと考えずに、自分の楽しみ、勉強のつもりで気楽に参加してもらえたらと事務局としてお願いします。参加しなければ、自分が何をサポートしたらわからないのですから。



海洋生物の観察

## プログラム

8月4日(火)

- ・ 開講式
- ・ モミ・ツガ天然林と人工林
- ・ 苗畑 (マツノザイセンチュウ抵抗性マツなど)
- ・ モウソウチクの開花実験地
- ・ 森林展望 (演習林の代表的な林相が観察できる場所)

郷台宿舎  
郷台周辺  
同上  
同上  
同上

- ・スギ品種別成長調査地
- ・スギ高齢人工美林
- ・水文試験地
- ・講義「千葉演習林の概要」
- ・講義「野生生物との共生」
- ・ニホンジカなど動物の夜間観察
- ・宿泊

相ノ沢  
牛蒡沢  
袋山沢  
清澄講義室  
同上  
清澄寺周辺  
清澄宿舎

8月5日（水）

- ・スギ人工林の構造調査と材積調査のためのサンプル採取
- ・海洋生物の観察と生態調査

郷田倉  
千葉大学 海洋  
バイオシステムセンター

- ・人工林の構造調査と材積データ整理
- ・講義「ヒメコマツの保全」
- ・講義「森林と微生物の働き」
- ・宿泊

清澄講義室  
同上  
同上  
清澄宿舎

8月6日（木）

- ・海洋プランクトンの顕微鏡観察

千葉大学 海洋  
バイオシステムセンター

- ・総括、終了式
- ・昼食後 解散

同上  
同上

## 8 月度（2）ボランティア活動・募集案内

～クラフト作り指導～

石川 輝雄



8月22日（土）から24日（月）の3日間に千葉演習林でボーイスカウト鴨川第5団の活動がおこなわれ、そのうち24日午前に行われたクラフト製作に石川夫婦と鷺津さんの3名が参加して指導、協力をしました。

松ぼっくり、アカガシやマテバシイのどんぐり、ムクロジ、木の枝など自然の材料を使い、リース、ストラップ、腕輪などを作成して楽しみました。皆が作成に熱中して時間になってもな

かなか止めずお昼の時間に食い込むほどでした。最後に各自がつくったものを皆に見せあい、大切に持ち帰りました。私たちも子供たちの自由な発想の作品と製作に熱中するさまを見ることができるのも楽しいことです。

# 9 月度 ボランティア活動・募集案内

～ 初秋の自然を楽しむ～

初秋の演習林の自然を楽しみたいと思います。

前泊をして秋の月やむしの声など秋の風情を楽しみ、次の日は猪ノ川林道、郷台林道を歩いて秋の植物の観察をします。新しい草花の発見があるかもしれません。

25日の日帰り参加も可能ですのでぜひ参加ください。

日 時 平成**21**年**9**月**24**日(木)夜～**9**月**25**日(金)

内 容 9月24日 夜 : お月見・懇親会・宿泊  
9月25日 午前: 自然観察、写真撮影など。  
(加勢林道入口→猪ノ川林道→郷台作業所)  
午後: 郷台苗畑 草取り作業

集 合 9月24日 午後5時 清澄宿舎  
9月25日 午前9時 清澄宿舎(日帰り参加の場合)

定 員 特になし

持ち物 筆記用具、弁当(25日の日帰り参加の場合)、野外活動ができる服装、靴(登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、タオル、雨具、リュック、保険証のコピー、会員証、宿泊用持ち物など

費 用 4,000円(予定)  
25日の日帰り参加の場合は必要なし

雨天時 状況により対応

受付期間 ～平成**21**年**9**月**16**日(水)

- 申込方法
- ・電話、FAX、E-Mailのいずれかで申込みください。
  - ・千葉、木更津、茂原などから Abies 会員の車に同乗して参加する方法もあります。申し込み時相談ください。
  - ・参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。



カリガネソウ

申込み問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛



# 10 月度 ボランティア活動・募集案内

～天津小学校 緑の教室 サポート活動～

天津小学校の“緑の教室”のサポート活動は子供たちとの一日、楽しく勉強にもなりますので、多くの参加をお願いします。



日 時 平成 **21** 年 **10** 月 **27** 日 (火)

集 合 清澄作業所 9 : 0 0

解 散 同 1 6 : 0 0 頃

内 容 天津小学校 緑の教室・プログラム サポート

場 所 清澄作業所 近辺

持ち物 昼食、飲み物、野外活動ができる服装、靴（登山靴などしっかりしたものか長靴、地下足袋のいずれか。）、雨具、会員証など  
(集合場所の周囲での活動ですので、持物を持ち歩かないでサポートできます。)

定 員 6 名 程度

雨 天 時 状況により対応します。

受付期間 ～**10** 月 **15** 日 (金)

申込方法 ・電話、FAX、E-Mailのいずれかで申込みください。

・千葉、木更津、茂原などから Abies 会員の車に同乗して参加する方法もあります。申し込み時相談ください。

・参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

## 申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 2009/8/30 発行

\*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

TEL/FAX : 043-251-1390

石川 輝雄

\*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321